



■ **国連女性の地位委員会 (CSW) と女性・市民団体の役割** 2

CSW66 が 3 月 14 日～25 日にハイブリッド方式で開催されました。今回は CSW 日本政府代表・田中由美子さんから CSW 誕生の背景、日本と CSW、女性差別撤廃条約、北京行動綱領と CSW の関係、女性・市民団体が歴史のなかで果たした役割について、改めて明確な解説をいただきました。今後出される成果について注目していきたいと思います。

■ **駐日 EU 代表部・ジョイセフ主催国際女性デー議員会館イベント報告**
セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの
取り組みを進める連帯の輪を広げたい 3

3 月 16 日、国際女性デー記念して「ジェンダー平等とセクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツ」のイベントが開催されました。性暴力、避妊や中絶をめぐる自己決定権をめぐる日本の現状について、市民社会の多様な角度から各国の大使や国会議員に問題提起されました。発言者のお一人である LGBT 法連合会事務局長神谷悠一さんの報告です。

■ **「安保法制違憲訴訟」棄却の判決を受けて** 4

「安保法制違憲訴訟・女の会」は、2016 年 8 月 15 日の敗戦日に 121 人の女性が原告として提訴し、法廷闘争を続けてきました。ところが 1 月 22 日、裁判長は暴挙ともいえる突然裁判の打ち切りを行い、3 月 25 日には訴えを却下する判決を出しました。原告のお一人である高木澄子さんによる怒りのメッセージです。

■ **公務非正規女性全国ネットワーク (はむねっと) 1 周年記念シンポジウム**
公務非正規の女性からの問題提起
— 怒りと悲鳴が聞こえるなかで 5

3 月 20 日、上記のシンポジウムでは、2017 年度に始まった「会計年度任用職員」という名の非正規公務員制度で働く女性たちの大きな怒りと悲鳴が聞こえてきました。高い専門性が求められるにも関わらず、雇止め、年収の格差といった現状について元男女共同参画センター長、福田紀子さんからの問題提起です。

■ **北京行動綱領の検証 ⑧ 女兒**
歌舞伎町トー横キッズに見る「寄る辺なき子どもたち」 6

管理や束縛、抑圧による息苦しさのなかから逃げ出す子どもたち。権利主体として子どもが尊重されていない社会を象徴する 10 代の家出少女たちを歌舞伎町や地域で支援する稲塚由美子さんによる日本の子どもの人権状況について現場からの報告です。

■ **お知らせ、会員意見交換会、世話人会、加盟団体ほか** 8